

キタを愛する人たちのための、キタを再発見するマガジン。ネットに載らない情報テコ盛り。

# つひまぶ

夏号 7月号 2014

北区魅力発信フリーペーパー「つひまぶ」vol.2 2014年7月11日発行（毎年3・7・11月発行予定）編集・発行：大阪市北区役所＋北区魅力発信サポーター（浅香保ルイス龍太・おじまあきら・田口和成・棚橋真理・藤堂千代子・山田寿也・山本宜弘・依藤智子）連絡先：大阪市北区役所（大阪市北区藤町2-1-27）【tel】06-6313-9743【fax】06-6362-3821【mail】tsuhimabu@gmail.com【blog】http://tsuhimabu.blogspot.jp（誌面に載せきれない情報はブログでね♥）定価：0円 主な配布場所：大阪市北区役所・北区民センター・大淀コミュニティセンターほか多数（配布場所はブログにて随時お知らせします）

吉本興業生誕の地であることを持ち出すまでもなく、天満は大衆芸能のメッカであり続けてきました。特に明治から昭和の初めまでは多くの寄席が林立し、チンドンなどの音楽が絶えず鳴り続ける賑やかな土地であったと伝えられています。今でも日本古来の歌舞音楽が息づき、教会音楽があり、お座敷音楽を支え、豊かな音楽空間を形成しています。翻って梅田にはいま、ミュージカル、クラシック、オペラからバレエまで多様な音楽と芸能を繰り広げる梅田芸術劇場があり、ビルボードライブ大阪では世界基準のミュージシャンが、夜ごと、至高の演奏を繰り広げています。さらに西へ目を転じれば、日本の商業演劇を代表する大阪四季劇場が控えています。

歴史的な奥行きと大都市ならではの音楽インフラが充実する一方で、キタには、じつに数多くのジャンルの音楽がタコツボ的に点在しています。意欲的で、(伝統回帰も含めて)先鋭的で、純音楽的で、音楽を次の段階のものに押し上げようとするもの、世界とつながっているものを、あちこちのライブハウスやカフェで耳にすることができま

す。さらに、まちなかに張り巡らされた人のつながりがキモになっている天満音楽祭のありかたも、他の音楽祭とは一線を画した、例のないものです。

しかもそれは、ニューオリンズやダブリンのように、その土地のローカルミュージックに特化しているわけではありません。雑多で、批評精神があり、それぞれが元気で、さらにそれらがときに有機的に絡み合う。これこそがキタの音楽の風景の最大の特徴で、それは、今後ますますグローバル化していく世界の音楽の、ひと足早い未来の姿を垣間見せているとすら言えます。

そう。キタは、世界でも有数の「音楽都市」なのです。



# キタにある、私たちの音楽の未来

いろいろな人が、おもろいことやってます。

## 北区の活動情報

antennaはっつけよ！

### 北区的盆踊り!

日程や内容は予告なく変更される場合があります。終了時間の目安は開始から2〜3時間後ですが、進行状況や天候に左右されるのでご注意ください。

### 中津納涼祭

●7月26日(土) 17:00~ ※雨天時7月27日(日)  
●中津小学校

中津保育園や中津相愛幼稚園の園児、中津小学校の児童、大淀中学校の生徒が音楽会に出演し、踊りや演奏などを披露します。また、平成医療学園専門学校が飲食やゲームコーナーの運営に関わるなど、住民と学校・園が一緒になって祭りを盛りあげます。

### 第29回済美カーニバル

●7月26日(土)・27日(日) 18:00~  
●済美中崎町コミュニティグラウンド

本場徳島から「連」が参加し、道路を一部閉鎖して阿波踊りを披露します。住民と入り乱れて踊るなど、大盛り上がり。手話エンターテイメント発信団「oioi」によるパフォーマンスショーや子どものゲームコーナー、屋台の出店など、盛りだくさんです。

### 豊仁盆踊り大会

●7月26日(土)・27日(日) 19:00~  
●長柄公園

今年の盆踊りはとても貴重です。来年から会場が変わってしまうため、40年以上も続いた長柄公園での盆踊りが今年で最後になるからです(来年からは豊仁小学校で開催予定)。そんな長柄公園にアニメキャラクターが多数あられ、大いに盛りあげてくれます。

### 北天満サマーフェスティバル

●8月2日(土)・3日(日) 18:00~  
●もと北天満小学校

幼稚園児がデザインしたTシャツのファッションショー、越中八尾の「おわら風の盆」の踊り(二胡と三味線の生演奏)、ハワイアンとフラダンス、ペリダンズなど海外の踊りも披露します。おいしいと評判の屋台や子ども向けゲームコーナーもあります。

### 豊崎東盆おどり・カーニバル

●8月2日(土)・3日(日) 18:00~  
●豊崎東小学校

「子どもたちとともに盆踊りを！」を合い言葉に、豊崎東小学校卒業生が子どもカーニバルの部を運営します。両日も恒例の抽選会や縁日のお店があります。盆おどり・カーニバルに参加した子どもには、お菓子のプレゼントや、浴衣の着付けをします。

### すっきゃねん滝川2014

●8月6日(水)・7日(木) 18:00~  
●滝川公園

小学校の運動会でも踊る「滝川音頭」は今や滝川名物として、年齢問わずみんなが踊ることが出来ます。北稜中学校吹奏楽部や扇町総合高校吹奏楽部「オーギーズ」による演奏、一般参加によるダンスの振り付けコンテストなど、参加者みんながノリノリになれます。

### 本庄盆踊り大会

●8月16日(土)・17日(日) 19:00~  
●本庄川崎公園

大人ももちろん楽しいけれど、やっぱり主役は子どもたち。朝のラジオ体操のときに練習した踊りを、太鼓のリズムと音頭に合わせてやぐらの上で披露します。お菓子配りタイムには、驚くほどたくさんの子どものたちが、小さな公園だけど、たくさん踊りの輪で大盛り上がりです!

### 菅公会天神踊

●8月22日(金)・23日(土) 19:00~  
●大阪天満宮

戦後間もない1948年、戦火を逃れた大阪天満宮の境内を利用し、近隣地域に住む人々が天神踊りを立ちあげました。現在、同踊りのために結成された「菅公会」は、堀川・滝川・菅南・西天満を中心に、地域を越えて踊り好きな人がたくさん参加しています。みなさんぜひ!

### 菅北カーニバル

●8月22日(金)・23日(土) 日没~  
●菅北小学校

菅北小学校の児童によるジュニアバンドとコーラスグループ「グルッポ菅北」による、世代を超えたジョイントコンサートで華々しくスタートします。20店を超える夜店の賑やかさは格別!夏休み最後のお祭りも、夜店と踊りでグラウンドいっぱい盛りあげます。

### 堂島盆踊り

●8月22日(金)・23日(土) 19:00~  
●堂島ふれあい広場(もと堂島小学校跡)

22日は鉄砲二美氏による鉄砲節時事音頭「当世嘆き節」などを楽しむことができます。模擬店や地元企業の社員ボランティアによる手作り缶バッジコーナーもあり、子どもも楽しめる内容になっています。仕事帰りの飛び入り参加も大歓迎です。

### 菅南西天満まつり

●8月23日(土)・24日(日) 18:00~  
●西天満小学校

菅南西天満まつりは、子どもたちが集まる場、おじいちゃんおばあちゃんが集まる場。地域のおうちちゃんおばあちゃん、そしてお父さんお母さんは、工夫を凝らしておいしい焼きや焼きそばを作り出します。楽しいゲームコーナーもいっぱい。老若男女、みんなの笑顔があふれています。

### 編集後記

「つひまぶ」は、編集会議でテーマを決め、取材、原稿作成、内容確認、校正、印刷の順でつくっています。それだけです。だけど、「つひまぶ」は「人」に焦点をあてた雑誌なので、思いどおりに作業を進めることができません。取材したい人に交渉しても、なかなか承諾してくれません。嫌だから、面倒くさいからではなく、自分よりもふさわしい人がいるからと謙遜されるためです。あるいは、もっとがんばっている人がいるし、その人との関係が悪くなるから、人に知ってもらうことが目的の活動をしているわけではないという人もいます。対象が「人」だからこそ、思いどおりにいかないのはあたりまえです。それでも、地域のため、他人のため、そして自分のためにがんばっている人が、それを北区にかかわる人に知らせてほしい。そして、それを知った人が少しでも前向きな気持ちになってほしい。そういう「想い」を持って、サポーターは活動しています。「想い」を伝えるのは難しいですが、最後まで読んでいただければ幸いです。(田口和成)

「つひまぶ」ブログ  
毎週月・木更新  
http://tsuhimabu.blogspot.jp

年100本のステージをこなし、子どもから大人まで客層を選ばずに盛りあげてしまう高いステージ技術と、観る者全員に伝わってしまう素直さ、一所懸命さ、そして音楽をする喜びを身体全体で体現してくる、大阪市立扇町総合高校吹奏楽部オーギーズ。マーチングやスウィングジャズなどの疾走感溢れる演奏に定評があり、果てはAKB48からアンパンマンのマーチまでこなすなど、あらゆる現場のニーズに応えることのできる幅広いレパートリーを誇ります。長年応援しているファンも多く、学校の部活の枠を超えて、これほど地域に愛され続けているミュージシャン集団は少ないのかもしれない。

一方、ご存じ、横山ホットブラザーズは、殿堂入りも果たした上方演芸の重鎮。楽器を用いた音曲漫才の伝統を継承する数少ないコメディアンであり、長男の横山アキラ氏は、「お〜ま〜え〜は〜ア〜ホ〜か〜」でおなじみのミュージック・ソー（ノコギリ音楽）の第一人者でもあり、全員がミュージシャンでもあります。そしてアキラ氏はじつは天満の菅北小学校のご出身！ そう、横山ホットブラザーズの原点は、じつは天満なのです。オーギーズから代表3人（岸本菜々花さん・佐々岡襟圭さん・寺中萌々さん）と横山ホットブラザーズによる、天満大衆芸能音楽のDNAを持つ両者による対談のはじまりです。

**横山アキラ** ノコギリをはじめたのは昭和27年。大先輩の漫才師がアメリカで買ってきて使ってたのを、譲り受けました。先輩は打楽器代わりに使ってたけど、僕たちは音楽をやってたから、やるからには音もちゃんとせなあかんと思って、まずは「荒城の月」をやった。このノコギリはね、楽器のノコギリではなくて本物のノコギリやから、音階がないし、音域も狭いんですわ。それで、音の高低が少ない曲を選んでやってた。「荒城の月」も、そう。

試行錯誤を続けるうちに、「お〜ま〜え〜は〜ア〜ホ〜か〜」ができた。お客さんに向かって言ったのがウケて、それからネタになった。**横山マコト** この人はね、音程をとるのがあんまり上手くないねん（笑）だから、僕のアコーディオンのメロディを聴きながら、ノコギリを奏でる。アコーディオンが旋律を奏でるので、ノコギリが生きていることですね。**横山アキラ** だから、次男がアコーディオンで弾かない曲は、僕はできない（笑）それに、「お〜ま〜え〜は〜ア〜ホ〜か〜」は、最初にそう言うてから奏でるから、そう聞かせる。ノコギリの魔術やな（笑）

**横山セツオ** 吹奏楽部の部員は何人くらいいるの？  
**オーギーズ（佐々岡）** 100人います。  
**横山セツオ** むかしは男子学生ばかりやったけど、今はそうでもないらしいね。マウスピースで唇が腫れるから、むかしは女子に嫌われたもんですわ。最近の女子はすごいな！  
**オーギーズ（寺中）** 中2でバスケットボールをやめてからすぐ吹奏楽をはじめて、そのころからトランペットをやっています。  
**オーギーズ（岸本）** 吹奏楽はずっとやってたけど、ユーフォニアムがかったよくて、高校からはユーフォニアムをやっています。  
**横山セツオ**（スーザフォンを見て）でかいなっ！  
**横山マコト** 今の吹奏楽はジャズから演奏までやるからね。映画の「スウィングガールズ」の影響でサクスが一躍人気になったね。  
**オーギーズ（寺中）** はい。演歌だと、美空ひばりさんの「川の流れのように」とか、グレン・ミラーもやります。

オーギーズ（佐々岡） オーギーズでは替え歌をつくることがあります。横山ホットブラザーズさんも替え歌をおもしろくされてると思うんですが、どんなコツがあるんですか？  
**横山マコト** 演歌を2、3曲いいとこ取りをする。それで、前奏〜中〜後奏を別の曲でつけて、組み合わせますねん。メドレーとは違うけど、いろんな曲のいいとこ取りをするんや。今やっても受けへんな（笑）あと、最後まででは歌わないのもコツ。

「ア〜ホ〜か〜」ができた。お客さんに向かって言ったのがウケて、それからネタになった。**横山マコト** この人はね、音程をとるのがあんまり上手くないねん（笑）だから、僕のアコーディオンのメロディを聴きながら、ノコギリを奏でる。アコーディオンが旋律を奏でるので、ノコギリが生きていることですね。**横山アキラ** だから、次男がアコーディオンで弾かない曲は、僕はできない（笑）それに、「お〜ま〜え〜は〜ア〜ホ〜か〜」は、最初にそう言うてから奏でるから、そう聞かせる。ノコギリの魔術やな（笑）

**横山アキラ** 僕らはプロやから、台本を書いてくれる作家さんがいます。でも、君たちは作家がついてないから、自分らで考えないかね！  
**オーギーズ（寺中）** ステージに立って、見られてるとすごく気持ちいいんです。でも、ウケるにはどうすればいいですか？  
**横山セツオ** 今はお客さんが盛りあげてくれるからね。お客さんに乗せるように、雰囲気大切にせんとね。  
**オーギーズ（佐々岡）** ステージに上がるときにテンションが低いときもあるんですが、そういうときはどうしたらいいんですか？  
**横山アキラ** 僕は今でも出番のまえには「人」の字を手のひらに3回書いて、飲み込んでから舞台上がるんや。それでスイッチが入る。自分でスイッチを入れるイメージトレーニングを、普段からしておいたらいいですな。  
僕らはプロやから、年がら年中ステージやってて、そらイヤなときもあるし、そんなときは手も抜くよ（笑）あかんもんはあかんね。絶えずテンションを上げる必要はない。チームのええところは、そこや。各々を認めてるからこそ、チームワークで乗り切るねん。そもそも、音楽をやって悲しいことはないやんか。音楽は楽しいことやから、やっていると、なにかしら乗ってくることはあるよ。曲の組み立ても大切やね。ウルフルズの「明日があるさ」は、テンションあげるのにはええ曲やで。  
**横山セツオ** 自分の出番でなくても、舞台上では笑顔でいたい。参加してることを、前面に出していかなとね。お客さんが知ってる曲をやると、やっぱり盛りあがるしね。  
**オーギーズ（全員）** はい。参考になりました。これからもがんばります！ 今日はありませんがとうございました

# 横山ホットブラザーズ × オーギーズ

世代を超えた天満ミュージシャン対談

司会・構成・書き手／浅香保ルイス龍太 撮影／おじまあきら



音楽をやって悲しいことはないやんか。  
音楽は楽しいことやから、やっていると、なにかしら乗ってくることはあるよ。

ステージに立って、見られてるとすごく気持ちいいんです。  
でも、ウケるにはどうすればいいですか？



**横山ホットブラザーズ**  
長男アキラ（ノコギリ）、次男マコト（アコーディオン）、三男セツオ（エレキギター）の兄弟トリオ。手持ちの楽器はもちろんなコギリ・ナベ・カマ等のガラクタを駆使し、歌と音楽を笑いに変えて、子どもからお年寄りまでが楽しめる究極の爆笑音楽ショーを展開。まさに比類なき芸の達人。1996年に第51回文化庁芸術祭賞大賞、2003年に第38回上方漫才大賞を受賞。2009年に上方演芸殿堂入り。



**大阪市立扇町総合高校 吹奏楽部「オーギーズ」**  
地元北区のみならず内外で年間100回以上のステージをこなし、ボランティアにも積極的に取り組む。あらゆる観客を相手に盛り上げてしまうステージに心を打たれた人は数多く、北区民が愛してやまない吹奏楽部。昨年度はNHKスクールライブショー吹奏楽バトル西日本グランプリ優勝、全日本高等学校吹奏楽大会実行委員会賞、JBA下谷賞を受賞。未来に大きくはばたけオーギーズ！

## SDA大阪センター教会のパイプオルガン

天満橋の北詰、大川沿いにあるSDA 大阪センター教会のなかには、北区唯一の立派なパイプオルガンがあります。



金属製と木製の両方で1228本のパイプがあり、鍵盤を押してパイプの下から風を通すことで音を出す楽器です。楽器というよりも、建築物と言いたくなるくらいデカさ。鍵盤が上下2段になっていて、上の鍵盤で正面上のパイプを鳴らし、下の鍵盤で右側に据えつけられているパイプを鳴らし、フットペダルで左側に据えつけられているパイプを鳴らす仕組みになっています。ということは、3台のオルガンをひとりで操作しているということに！

クリスマスコンサート以外にも不定期でチャリティーコンサートを開催していて、実際にこのパイプオルガンの荘厳な音色を堪能できます。ぜひ、行ってみてください。

大阪市北区天満 2-2-10-201 ☎ 06-6351-8577  
http://www.sdaosaka-ch.info/

## 朝陽会館

北区には有名な大阪能楽会館がありますが、それ以外にも、天満宮の表門前に能舞台があるのを、ご存じですか？

表門から南に伸びる参道の一番手前に朝陽会館という建物があり、外見からはわかりませんが、そこには立派な能舞台があります。

観世流 職分の上野朝義さんが、こちらの能舞台を運営。上野朝義さんはじめ、上野さんご兄弟3人は全員が能楽師で、お父さんもおじいさんも能楽師という、由緒正しき家柄です。

現在の能舞台がある朝陽会館は、昭和42年に建てられたもの。戦前にこの地に大きな能舞台があったのだけれども、戦争で焼失、その後、再建されたものだそうです。

天満宮で梅まつりが行なわれる2月下旬、上野家は勲進能を舞います。能楽教室も行なっているので、興味のある方はぜひ！



大阪市北区天神橋 1-17-8  
☎ 06-6357-0844  
http://choyokaikan.com/

## 奄美島料理 ていだ



沖縄料理店の魅力はなんといっても、夜更けから行なわれる島唄ライブ。キタにもそんな沖縄料理店は数あれど、ここでは奄美がメインの「ていだ」を。奄美の島唄は、ファルセットを多用する点で、琉球の島唄とはひと味違います。ここでは、そんな奄美の島唄をたくさん聴くことができます。もちろん最後はスタッフもお客さんも総踊りで、ボルテージは最高潮に！

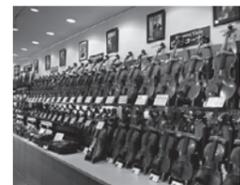
大阪市北区天神橋 5-5-32 河合ビル 2F ☎ 06-6881-3639  
17:00～25:00 火曜・第3水曜休み

## キタ歓楽街環境浄化推進協議会と音夢食堂

阪急東通り商店街を中心に防犯活動が続いている地域の人たちは、年2回、犯罪防止のさまざまなフレーズをシュプレヒコールしながらパレードを行なってきました。ただ、シュプレヒコールは耳に痛い！そこで、これを歌にしちゃったんです。大正区の音楽振興大使・音夢食堂さんの協力を得て、軽快な沖縄民謡に乗せ、お祭りのように防犯活動をする姿は、地域活動の新しいかたちを示しています。



## クロサワバイオリン大阪梅田店



西日本最大級の弦楽器専門店。弦楽器の本場ヨーロッパの厳選された良質な楽器が、商品点数・内容とも圧倒的な規模で陳列されています。試奏室も完備☆(要・問い合わせ)

大阪市北区梅田 1-11-4 大阪駅前第4ビル1F 御堂筋側  
☎ 06-4796-9638 11:00-20:00 無休 kurosawaviolin.com/

## あこや楽器店

ご存じ、天神橋筋商店街にあって、天満のみならず日本を代表する演歌専門店。全国に2体しかない北島三郎の黄金の像が今日も店頭でデンと鎮座しています。

野村社長が26歳のとき、昭和24年の創業です。今年で65年目！あこや楽器店のようなまちのレコード屋さんは、今では大阪府下でも20店足らずなのだそう。演歌専門店として、CDのみならず、カセットテープの品揃えは、おそらく日本一です。店頭には演歌部門のランキング表、歌手別のポップも充実し、どこまでも演歌ワールドが炸裂しています。「演歌は日本人の本当の心をとらえている、聞かせるのは演歌」だと。

そんな野村社長からのメッセージは、「音楽商品を生産高から見ると、日本は世界一の音楽国です。日米で全世界の生産高の50%を占める。日本は世界一の音楽国。誇りを持ちましょう！」



大阪市北区天神橋 4-4-8 ☎ 06-6351-0110  
9:30～19:00 第2土曜休み http://homepage2.nifty.com/akoya\_gakki/

## ピエロハーバーのポリウッドダンス



インドのポリウッド映画のワンシーンでキャストが一丸となって踊る情熱的なダンス。インド古典舞踊にヒップホップやフォークダンスなどの要素を取り入れたもので、大人気で明るく踊ります。

関西では、インド総領事館とタッグを組んで中津の芸術文化村ピエロハーバーが、昨今のブームを牽引。初心者もキッズも踊れるポリウッドダンスに、あなたも参加してみては？

大阪市北区中津 6-1-10 ☎ 06-6451-7780  
http://www2.odn.ne.jp/sugar-town/

## ワイルドバンチ

映画やジャズに関する古書に囲まれ、フリークたちが集い語る隠れ家的なブックカフェ。ジャズやフォーク、トーク等のライブが多数開催されるのみならず、早川義夫や三上寛など、カルト界のカリスマが夜ごとライブを繰り広げる、奇跡の店。また、映画評論家ミルクマン斎藤による月イチ・イベントも見逃せない。

大阪市北区長柄中 1-4-7 ロイヤルグレース 1F  
☎ 06-4800-4900 18:00～23:30 (土/15:00～)  
日月祝休み http://bcwildbunch.com/

## 天満音楽祭

若いころのアマチュアバンド時代の快感が忘れられない地元企業家仲間たちの発案で「天満音楽祭」がスタートしたのが2000年。

「音づくり、仲間づくり、まちづくり」をコンセプトに掲げてスタートしたこのイベントも今年で15回目を数え、回を重ねるごとに出演バンド、ライブ会場、来場者も増え、地元の企業・商店はもとより地域や各種団体・ボランティアの人々の支援・協力の輪もひろがり、今では関西一円のみならず、関東方面からの参加も得るまでに発展し、キタを代表する音楽祭に成長しました。

関西にはいくつかの大きな音楽祭が開催されているけれども、「天満音楽祭」は音楽のジャンルを問わず、OAPタワーを中心に周辺のお寺や教会、区民ホール、小学校など約30会場(昨年度)で繰り広げられるのが特長です。各会場間は無料シャトルバスで結ばれています。

天満を愛し、大阪を愛する天満人の心意気がかたちになった天満音楽祭は、まちなかに張り巡らされたつながりを実感できる音楽祭として、音楽祭とまちなかありかたの新たなかたちを示しています。今年も、史上初の環状線の電車のなかでのコンサートもあり☆(詳細はHPを)



第15回天満音楽祭は10月5日(日)開催  
http://www.ten-on.jp/

## 南ジョージバンド「ごめんね中崎町」

ハヤシライスが絶絶おいしい中崎町のレストラン「クイーン」のオーナーシェフが率いる「南ジョージバンド」の代表曲「ごめんね中崎町」。70年代フォーク世代には懐かしい、グループサウンズの香り漂うフレンチフォークの名曲です。有名演歌歌手のご当地ソングは数あれど、こうしたものは、全国でも珍しいのでは？中崎町を舞台にした淡い恋の思い出を歌ったこの曲は、ぜひ、カラオケのレパートリーに加えたい一曲ですな。



大阪市北区中崎 3-1-1 摂津ビル1F  
☎ 06-6373-3409 8:00～18:00 日休み

## シャングリ・ラ

京都は磯磔、神戸がチキンジョージなら、キタにはシャングリ・ラがある！2005年夏、大淀の開散とした場所にオープンしたこのハコは、今では大阪のライブハウスシーンを牽引する存在に成長。「百花繚乱」をコンセプトとし、さまざまなジャンルの音楽を提供し続ける場として、圧倒的な人気を誇っています。ステージには緞帳のような赤いカーテンが掛かり、天井からはミラーボールとシャンデリアがぶら下がり、バーカウンターがホールのド真ん中にあるという…、内装もGOODです！

大阪市北区大淀南 1-1-14 ☎ 06-6343-8601  
http://www.shan-gri-la.jp/



世界とダイレクトに感応している音楽、未来に一直線で突き進んでいる音楽、未来のために伝統に回帰する音楽、生活を豊かにする音楽、まちに彩りを与える音楽、人とのつながりを浮かび上がらせる音楽、ここに根を張り、この地に殉じ、肥やしになるうとする音楽…、キタの音楽と音楽人は今日も元気だ！

未来を感じさせる、キタの音楽

## スタンダップコメディアン ナオユキ

R-1ぐらんぷり2011年ファイナリスト。酒にまつわるネタのぼやき漫談で爆笑を誘う、天満を根城にするスタンダップコメディアン。バンクスのように言葉の礫を吐き出し、やがて闇夜のブルースに着地する喋りは、まさに音楽ライブのよう。ミュージシャンとの共演も多く、音楽的、いや音楽そのもののような芸人。



http://naoyuki.otaden.jp/

## 音太小屋

天六の路地裏にある怪しげなイベントホールは、なにかがズレてる変な場所。来る者拒まず去る者追わずのお気楽なこの場所に、今日も濃ゆい人たちが集います。おじさんフォーク多数☆



大阪市北区菅栄町 3-15 ☎ 06-6353-6985  
http://www.eonet.ne.jp/~netagoya/

## 魚山大原流聲明愛好会「梵響座」(専念寺)の声明

経典に節をつけて唄誦する「声明」。平曲・謡・浄瑠璃・義太夫節・長唄など、語り物歌謡の源流でもある「声明」が、天満では今も息づいています。僧侶の研鑽の目的ではじまった「魚山大原流聲明愛好会『梵響座』」の学びの主な舞台は、北区同心の専念寺。古式に則った声明を学び、天満音楽祭や夏至祭をはじめとするさまざまな場で披露しています。



大阪市北区同心 1-1-5 (専念寺)  
☎ 06-6358-4577

## ムジカジャポニカ

酒と愛と音楽の花園。電波よりも酒と音楽のふれあいを愛する人たちのための、なによりもミュージシャンに愛されている楽園。ライブハウスやクラブを主戦場とするミュージシャンで、このステージに立っていない人はいないんじゃないでしょうか？要するに、フジロックで見られるピースフルなステージが、神山町の一角で奇跡的に毎晩繰り広げられていると思えばよろしい。結果、日本の音楽の未来を占う指標が、ここにはあります。世界が羨むハコがキタにあることは、もっと知られてもいいはず。

大阪市北区神山町 1-24 扇町ビル 101 ☎ 06-6363-0848  
18:00～26:00 月曜休み (ライブ時営業) http://musicaja.info/



現代に残る、かつての名残

# まちの記憶

## 60年代〜70年代をめぐるジャズの名盤と、キタのジャズ喫茶

祭屋梅の助 井上彰

ライオネル・ハンブトンとオールスターズの  
ジャム・セッション・アルバム



J.A.T.P. ALL-STARs: Roy Eldridge, Charlie Shavers, Bill Harris, Willie Smith, Benny Carter, Ben Webster, Figo Phillips, Oscar Peterson, Herb Ellis, Ray Brown, J.C. Heard, OSCAR PETERSON TRIO with Herb Ellis, Ray Brown, GENE KRUPA TRIO with Benny Carter, Oscar Peterson, ELLA FITZGERALD with Raymond Tunia, Herb Ellis, Ray Brown, J.C. Heard, and with the Jazz at the Philharmonic All-Stars



1947年8月4日。カリフォルニア州バサデナ。ヴィブラホン奏者のライオネル・ハンブトンが演じた「スターダスト」は、ジャズ史に輝く歴史的名演となった。5分以上に及ぶヴィブラホーン・ソロは圧巻。17才の時（1966年頃）にラジオで初めてこの曲を聴いた私は、一瞬にしてジャズにのめり込んでしまった。

ジャズ喫茶は店それぞれに名盤、希少盤のコレクションがあり、お客は店を巡り、聴きたい曲をリクエストしてレコードをかけてもらう。『幻の名盤読本』に刺激を受けた私もまた、名盤、廃盤を探し求めて、西梅田の「OPEN DOOR」、阪急東通の「ムルソー」、太融寺の「J.O.J.O」と、キタやミナミやアベノのジャズ喫茶を、店から店へ、渡り歩いたものだ。

### ジャズ喫茶の老舗「いんたあぶれい8」

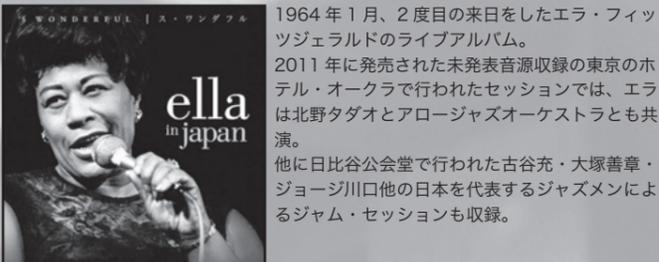
「8」の創業は1959年で、創業者のハチママが25才の時だった。ハチママ（のちの愛称はハチのおかん）こと中村陽子さんは昭和8年8月8日のお生まれ。だから店の名前が「8（ハチ）」。

1947年頃、女学生の陽子さんはまだまだ伊丹にあった進駐軍将校の家で、生まれて初めてジャズの生演奏を聴いた。それがすべてのはじまりで、1953年に梅田劇場でオスカー・ピーターソンとエラ・フィッツジェラルドの演奏を聴いたときには、興奮のあまり進駐軍の兵士たちまじってジルバを踊り、人生がはじめてしまった。

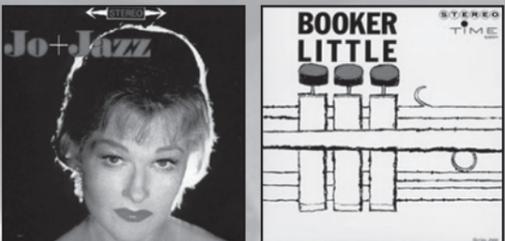
「8」といえばピアニストの山下洋輔さんとの関係が切っても切れない。当時はまだ東京以外で演奏する機会が少なかった洋輔さんが、1970年に「8」で飛び入り演奏をした。ガンガンのフリー・ジャズの洗礼を受けたハチママの人生は、またまたはじめてしまった。一宿一飯の恩義を感じた洋輔さんは、毎月一度「8」に通い続けて、マンズリー・ライヴを2年半も続けた。（現在は毎年8月8日にママのバースデー・ソロライヴが行われる）

OS劇場裏にあった有名店の「チエック」にも数回足を運んだことがある。けれどこの店に伝わる数々の伝説については、まったく知らなかった。

3年に建て替え工事が完成したが、初代は1958年の竣工。世界屈指と絶賛されるほどに音響が優れており、国内外のトップアーティストたちに愛され、歴史に残るライヴ・アルバムが数多く録音された。



1964年1月、2度目の来日をしたエラ・フィッツジェラルドのライブアルバム。2011年に発売された未発表音源収録の東京のホテル・オークラで行われたセッションでは、エラは北野タダオとアロー・ジャズオーケストラとも共演。他に日比谷公会堂で行われた古谷充・大塚善章・ジョージ川口他の日本を代表するジャズメンによるジャム・セッションも収録。



1974年頃、幻の名盤と騒がれ入手困難だったジョー・スタックフォードの「Jo+Jazz」とブッカー・リトルの「Booker Little」。



ジャズ喫茶のブームに火をつけたファンキー・ジャズの傑作。アート・ブレイキーとジャズ・メッセンジャーズの「モーニン」。

「J.A.T.P. in TOKYO」ノーマン・グランツ率いるオールスターズが1953年に来日したときのライヴアルバム。東京は日劇で、大阪は梅田劇場で、進駐軍の慰問をかねてオールスターズが来日公演を行った。

ジャズ喫茶は、薄暗い店内に煙草の煙がもうももとうたち込めて、お客はみんな無口であった。一杯の珈琲でコルトレインやオーネット・コールマンなんかを大音量で聴いて、ひとり瞑想にふけるのだ。

ジャズ専門のスイングジャーナル社が1974年4月に『幻の名盤読本』なるものを出した。ジャズの名盤・廃盤・希少盤を特集した臨時増刊号で、これがジャズ愛好家たちの蒐集心に火をつけた。

### 堂山町に、東洋一のナイトクラブ

「8」より1年早い1958年には、ミナミの料亭大和屋が堂山町に「クラブ・アロー」をオープンさせた。滝が流れる日本庭園もあるジャズの殿堂だ。

芝生の庭園では、見砂直照と東京キューバン・ボーイズ、原信夫とシャープス&フラッツ、北野タダオとアロー・ジャズオーケストラの3バンドが並んで競演したというから、その広さが慕ばれる。若造の私などはもちろん入ったことはないが、堂山の通りを歩くと滝の音が聞こえてきて、いつかはこんな店に入れる大人になりたい、と憧れたものだ。

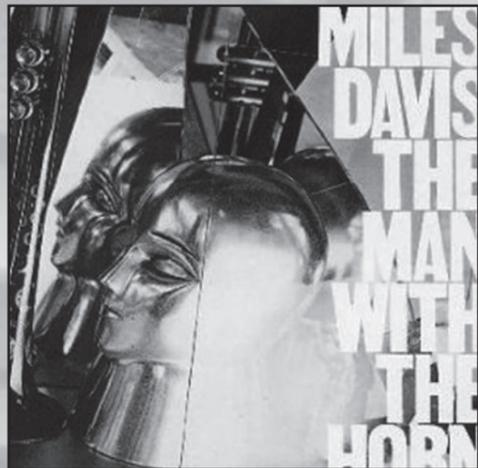
専属バンドは北野タダオとアロー・ジャズオーケストラ。専属司会はABCラジオの『メモリーズ・オブ・ユー』でおなじみだった安達治彦さん。支配人はターゲット・プロダクション代表の古川益男氏で、ジャズ・ピアニストの大塚善章さんも所属しておられた。

「アロー」には「ケントン・ガールズ」のジューン・クリステイ、アニタ・オディ、クリス・コナーをはじめ、多数の外国人ジャズ・ミュージシャンが出演している。1964年には、エラ・フィッツジェラルドもステージに立った。

エラは「アロー」出演の前日、フェスティバルホールで大阪公演を行っている。大塚善章さんもその公演には行かれたそうだが、オープニングはアーヴィング・バーリンのスタンダード曲「チェック・トゥ・チェック」(Check to Check)。バックはロイ・エルドリッジ・カルテットで、ピアノはトミー・フラナガン。エラが「H・E・A・V・E・N」&「と歌いはじめた瞬間、いきなりそのスウィング感に圧倒された善章さんは、そのフレーズだけで「天にも昇るようでした！」と振り返られる。

### ジャズの帝王マイルスが、扇町に

中之島のフェスティバルホールは201



マイルス・デイヴィスが1981年に扇町の大阪プールで行った復活コンサートの前に発表したフュージョン色の濃いアルバム「ザ・マン・ウィズ・ザ・ホーン」。



山下洋輔トリオが1975年にドイツでライヴ・レコーディングした「キアズマ」。機関銃のようにしゃべりまくるハチママに捧げた「ハチ」も収録されている。

**【井上彰】**  
昭和24年生まれ。キタを舞台にした伝説のフリーペーパー「あるっく」の編集・発行人。取材、執筆、編集、広告営業のみならず、果ては自転車に乗ってポストイングまでこなし、スーパーエディター。「あるっく」はやがて「天満人」に発展し、発売1ヶ月で初版3,000部を完売するも、平成7年に惜しまれつつ休刊。現在はペンをフライパンに持ちかえ、バスタが評判のイタリアン「祭屋梅の助」で腕を奮いながら、さらなる情報発信を目論み中。

**【祭屋梅の助】**  
大阪市北区天神橋1-14-8  
tel.090-3058-8947  
昼/11:30~14:00 夜/予約営業(要電話予約) 月曜休み

キタのええもん

キタの手みやげ

# グリル佐野惣の牛スジ入りコロツケ



**グリル佐野惣 (さのそう)**  
【所在地】 大阪市北区長柄西 2-4-14  
【TEL】 06-6354-8110  
【営業】  
食事・弁当 / 11:00~17:00  
テイクアウト / 10:30~18:00  
(土曜 / 10:30~15:00)  
【定休日】 日曜・祝日

駅から近いわけでも、観光名所の近くでもありません。この店の味を求めてわざわざ遠くから足を運ぶ店。長柄にあつて、長年愛され続けるグリル佐野惣。今回はそんな佐野惣さんのコロツケです。

グリル佐野惣が牛スジ入りコロツケの持ち帰りをはじめたのは昭和三十九年のこと。当時の長柄にはたくさんのお店があり、そこで働く人たちのために、ボリューム感のある三時のおやつとして生まれました。

工場が減り、住宅が増えた今でも、当時働いていた人たちが懐かしい味を求めて遠方から通われることも多いそう。なんと、四世代にわたって通う人もいらっしゃるのだとか。

働く人ばかりではなく、長柄で生まれ育った人のなかにも、「このコロツケの味が忘れられない」という人がたくさんいらっしゃるそうです。嫁いでいった人や引越した人などが、久しぶりに訪ねてきてはたくさん買って帰ります。そして、そのコロツケを家族で食べたり、ご近所に配ったりすることで、グリル佐野惣のコロツケは広まり、コロツケを通じている人々がつながっていきます。

コロツケを作るにあたって気をつけているのは、保存料を使わないこと。コロツケの中身のスジは、脂身を使わず、さらに油抜きをして使っています。下ごしらえの段階で具材に十分に火が通っており、揚げていないものでも、

冷蔵で四、五日は持つそうです。生パン粉は毎朝作りたてのものを仕入れていきます。生パン粉を使っているのも、冷凍しません。またお店では、揚げ油を毎日二回は入れ替えています。コロツケは揚げ物なので、食後に負担がかかりやすい食べ物です。だからこそ、油には特に気をつけています。私も、このコロツケを食べたあとに、油が残る負担を感じたことはありません。持ち帰り用のコロツケには、揚げたものと揚げていないものがあります。揚げたものは、発送もしています。冷めても美味しいコロツケですが、家であつあつを食べるのも幸せですね。

つながっているのは、お客様とだけではありません。ご近所のお店同士も、深くつながっています。普段より多くのお客様が来られ、ご飯が足りなくなると、ご近所のお店からご飯を借ります。そして翌日、炊きたてのご飯を返すのだとか。また、お店同士で「明日休むからお客さん流れるかも」とやりとりすることも。ここでは、ご近所のお店同士でお客様を取り合うのではなく、協力しながら大事にしています。長柄の飲食店は減ってきていますが、それでもお店同士のつながりは残っています。人とのつながりやご近所のお店とのつながりを大切にすること、そこに佐野惣さんが長年愛され続ける理由を見つけた気がしました。(穂ちゃん)



# 天神祭

第一回目

日本第二の大会・大阪。そのほぼ中心にありながら、ひと駅外れただけにいるいるおもしろい、突っ込みどころ満載の天満界限。この絶妙のユルさ加減は、もしかしたら大昔に天神さんが仕込まはったんかもしれません。せっかくな神様がボケてはんに、突っ込みまないのは人として申し訳ない。パチとかあてられるやもしれん。そんなこんなで、北区のまちのあちこちに、たまに鋭く突っ込みを入れてまわる新連載「そら、きつついわあ」。

第一回目は「天神祭」です。みなさん、天神祭というどんな印象ですか？暑い、人が多い、花火見えへん。そら、散々ですね。暑いのはまあ、しゃあないです。七月二十五日いうたら、一年で一番暑い時期ですからね。お祭りの日は変更できませんから、がまんしてください。人多い。たしかにその通り。お祭りの当日、集まってくる人の数は大体百万人、船に乗っている人の数だけでも十万人とかいわれています。この数、ピンと来にくいでしょう。鳥取県の人口が大体六十万人弱、全員やって来ても全然足りません。そう、和歌山県の人口がちょうど百万人くらいです。いうたら、和歌山県の人全員、連れもて行こうって一人残らず押し寄せたようなもんですから、人混むんあたりまえです。こら、きつつい。それで最後、花火見えへん。これはちょっと事情があります。天神祭は大阪の街中のお祭りです。なにわ淀川花火の淀川河川敷とか、PLのゴルフ場とかと比べると、どうしても



せせこましい場所、打ち上げ、す。せ。あんま。り大き。な玉が。上げられへんのです。具体的には25号玉くらい。直径7.5センチですから、お蜜柑くらいのお大きさの花火玉です。小さいから、あんまり高お上げてしまうと見た目に小さくて貧相な、迫力がないんですわ。ほんで、普通よりも低めに上げて、低いとこで開くようにしてるんですね。あんまり低いとこで開きすぎて、ビルの屋上に生えてた草に火が移った、なんて騒ぎもありました。そんなんで、もともとビルがぎょうさんで見通しが悪いのもあって、花火がなかなか見えへん、ゆうことすわ。まあ、元来これは奉納花火で、天神さんに見てもらうためのもんですから、私ら人間はそれのおこぼれ、ゆう感じでビルとビルの隙間からちらちらと見える、そんなくらいがええのんかも知れませんが。とりあえず天神さんにお参りしましよ。日頃から心安うになついたら、花火ようけ見せてくれはるやもしれまへん。さらに信心次第では、花火だけのおて、無病息災、家内安全、学業成就なんていうスペシャルなオプシオンもいただけるていいますし。(おじまあき)



# 扇町の少し不思議なお話



地下鉄堺筋線扇町駅。この駅、出入口が少し変わっているって気づかれた方はいませんか？じつは、一番南側の出入口⑤号出入口⑤号出入口⑤号出入口とは少し仕様が違うのです。写真の通り、出入口には「扇町地下道(堺筋線連絡通路)」の文字が書かれています。地下鉄の出入口なのに、なぜ地下道？連絡通路？また、通常はどの出入口にもついている出入口番号も、いかにも後でとってつけたように紙が貼られています。

なぜこのような仕様になったのか。疑問を解決するべく、交通局の地下鉄設備を管理する部署に電話でお聞きしました。駅ができたのは昭和四十四年で、同四十七年当時の図面には、なぜかその出入口の記載はなく、同五十一年の資料では「⑤号出入口」と記されているようです。開業当初は番号がついていなかったと推測されます。

さらに、この⑤号出入口付近は交通局の所有ではないそう、扇町地下道」という表示になったのは、そういう理由があったからでは？というのでした。出入口が地下鉄の所有物でないのは不思議に思われるかもしれませんが、場所が私有地であったり、建物と一体になっている場合は、別の所有者の管理になっている場所も多く、扇町駅もそういう事情をかかえているようです。複雑ななあ。

次に、扇町駅の南側の③・④・⑤号出入口に向

かう階段。改札を出て地上まで上がるのに、上がって下って最後にまた上がりま。なにかをくぐるかんじ。なんでそんなに面倒なつくりになっているの？と、利用した人は誰もか思はず。調べてもらったら、こちらはすぐにわかりました。ここ、下水管が埋まっています。地下には移動できないさまざまな構築物がある、一番やっかいなのは下水管のよう。邪魔な配管があれば移動させればいいのですが、下水管はそうはいきません。なにしろ、下水は勾配をつけて重力だけで処理場まで流していかねければならないので、ちよつと移動するというのが難しいですね。

この付近には、2.3m四方の函渠(四角の下水管)と直径0.8mの下水管が至近距離で走っていて、どちらも巨大。2.3mは普通の家の天井よりも高いですよ。これを移動させるとなると、下水管上流の樋ノ口町・与力町・同心・天満橋二・三丁目のほぼすべて、菅原町・池田町・錦町の東半分の下水管を取り替えるか、もしくは、下流の下水管をすべてやり直すという、想像もつかない大工事になってしまいます。現実的じゃありませんね。なお、この下水管は、最後には3m四方もの函渠になって、菅原町にある天満堀川抽水所に流れていくそうです。大阪の地下を掘るのは難しいんだなと実感できるお話でした。(なみはやノーツ)

# モノづくり最前線

第一回目

# 日本計器株式の「基準温度計」

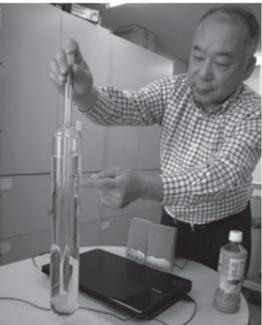
みなさんの生活の中で欠かせない「温度」。身の回りには多種多様な温度計が使われていますが、じつは温度計の精度は厳格に管理されています。

今回は、温度計の指標となる「基準温度計」の製造・校正・販売をおこなう、天満三丁目の日本計器株式会社代表取締役、宮野功勝さんにお話をうかがいました。

温度の管理は国の指針に基づいており、そのおかげで、保証された温度管理のもとで流通した食品をみなさんは安全に口にすることができたり、病院の体温計が何十本とあってもバラつくことなく検温できるのです。

温度管理や業務で使用されている温度計が、正確な製品であるかを調べるための校正(検査)をする温度計を基準温度計といい、日本計器では基準温度計の製造販売や、企業が使用している温度計の校正をする業務をおこなっています。そのような基準温度計の製造や校正作業は、厳格な基準や精度で管理された企業にしか任せることができません。

日本計器も、ISO17025(国際標準化機構)規格の取得やNITE(製品評価技術基盤



このガラス製セルを水の氷点にする。水蒸気、水、氷が共存する「水の三重点」が発生。温度計の精度追求に欠かせない基準器

機構)の校正事業者認定登録などをし、ており、安定した製品の製造や校正事業で、北区のモノづくりを支えています。製品を見せただけでは満足していませんが、手づくりの製品は「作品」という印象でした。これらが、精度を追求した機能品、工業製品だということに鳥肌が立ちました。精度を追求するものになるものは「職人が長年培ったカンとコツ」であり、機械製造では出せない領域のモノづくりをしています。「モノづくりをするからには、よい技術を追ってよいモノを残したい。しかし、受け身だけでなく発信する側にいることで、どんなオーダーにも応えられる技術を常に持っていると思う。そうして作られた製品は、何十年も強度や信頼に耐えることのできる治具になる」

生まれも育ちも北区は本庄東。

生まれ育ったこの地で、民踊や日本舞踊などの踊りの講師をされ、地域の方を中心とする生徒さんたちに踊りの基本から、その楽しさを伝えられています。

幼い頃は恥ずかしがり屋で引っ込み思案だったという少女が、どんなふうにも踊りに出たい、今日の先生としての取り組みにつながったのか。

後藤武子さんにお話をうかがいました。

### 学校の本読みも恥ずかしい。

### そんな引っ込み思案な幼少期

現在、武子さんは多くの生徒さんを抱える、北区の中でも有名な踊りの先生です。そんな武子さんですが、小さな頃から活発だったわけではなく、「小学生の頃、国語の時間に人前で本読みをするだけでも声が震え、顔が真っ赤になるような子どもでした」と、意外な子ども時代の性格を教えてくださいました。

また、幼い頃の踊りの思い出として、「小学校四年生くらいの時、地藏盆のために浴衣を着せてもらったけど、恥ずかしくて家を出られず、泣きながら二階からお祭りの様子を見ていたことを鮮明に覚えてます。今やったらなんぼでも見てや！という感じやけど」と、はにかみながら語られます。踊りの世界で活躍される武子さんですが、華やかさだけでなく、どこか控えめで慎ましやかな印象を覚えるのは、この頃の恥ずかしがり屋の一面が今でも影響しているのかもしれない。

い話にできるまでには、いろいろな苦労があったことでしょう。先生として踊りを指導するようになってからは、「あきらめてくれた」と、武子さん。新舞踊を初めて人前で披露した際には、お子さんを通じて旦那さんも見に来られていたそうで、踊っていると「ちょこんと主人の顔があったんです。でも踊っている時は動揺しませんよ」と、妻の顔と舞踊家の顔が交互にのぞきます。



聞き手・書き手／依藤智子 撮影／おじまあきら

踊りをはじめてからの変化に、育てのお母さんからも「踊りは人に見られるものやのに、よくやったな」と、ことあるごとに言われていたそうです。

### 曲を聴くと体が震えてね、やっぱり踊りが好きなんやな。

武子さんのおばあさんは高齢ながら踊りをされていましたが、その時には、「歳いつてるのに派手なお化粧して、格好わるいからやめとき」というくらいの気持ちで見ていると言われます。

そんな武子さんが踊りに出会ったのは、子育てもひと段落し、自分の時間が持てるようになった四十歳になった頃だと言います。地域の女性会が立ち上げられた民踊部に参加したのがはじまりだそうです。

「特別に好きという気持ちはなかったけど、曲を聴くと体が震えてね、やっぱり踊りが好きなんやな、と思いました」と、自分でも気づかないうちに、深い部分で踊りに魅せられていった心情を語って下さいました。武子さんが生まれて間もなく亡くなった生みのお母さんが、小さい頃に踊りを披露する機会があり、習ってもいないのに踊りが上手だったと近所では有名だったそうで、「そんな母の血もあったのかもかもしれません」と、亡きお母さんとのつながりも感じながら、

ろに、夫婦の強い絆を感じました。一番身近な旦那さんに反対されながらも、踊りを続けてこられたことを振り返り、「い

人とつながることができ  
充実感があります。  
踊りをやっていたから、  
つながることのなかった人と  
出会えてる。

ら踊りに打ち込まれてきた、そんな熱い気持ちを感じました。

### 怖いものがなくなる。 そのくらい舞台が怖い。

踊りとの出会いが、引っ込み思案だった武子さんを変えていったと言います。「もともと口べたやし踊りをやりだしてから変わったのはあります。前向きになりました」とおっしゃるように、踊りという表現の場を得たことは、武子さんにとって大きな出来事だったのでしょうか。

また、踊りの話になると「集まっておしゃべりしているよりも、踊って自分を表現したい。暗いけどね」「どちらかというと、教えるよりも、舞台でひとり、深い部分を表現するのが好きでした」と、踊りや表現することへの熱い想いがあふれ、それがなにより武子さんの魅力の源になっているのだと感じます。

大きな舞台でひとり、演じられた際のお話をうかがうと、「大きい舞台に出ると怖いものがないです。そのくらい舞台が怖いんです」と、糸が張りつめる舞台に立つ心境を語って下さいました。一方で、踊りをしているとその表現に没頭し、どんな大舞台にも立つことができる不思議な感覚があるというお話から、武子さんの舞踊家としての才能の一端を垣間見ることができたように感じました。

舞台上に立つ欲びをお聞きすると、「『幻お七』という演目を演じた際、泣いている人がいたあとで聞いて、私も嬉しくて泣きました。どこで泣いてくれはったんやろ。かわいそうなどころを演じられたのかなと、とても嬉しかった」と、表現者として、それが観客に伝わる欲びを本当に嬉しそうに、そして少し恥ずかしそうにお話下さいました。

いことも、悪いこともありますけど、やってよかったなと思います。やってなかったら、家でテレビ見てお菓子ポリポリ食べてたんちゃうかな。踊りしてなかったらなにしているやろ。と思うことがあります」と、武子さん。ひとりの人として自身を表現する踊りと出会え、今も続けていられる欲びと誇りを感じました。

### 踊りには、その人の気持ち、 性格みたいなもの表れます。

何気なく踏み入れた踊りの世界。当時は、四十代で熱心に踊りをされている方は珍しく、いろんなところから声がかかり、あれよあれよと教える立場になっていった武子



### 要所要所で ちょこんと主人の顔があった

踊りの世界に魅せられていく武子さんへの家族の反応をお聞きすると、「主人は反対して、『主婦は踊りなんかできひんや』とまで言われました」と、少し気まずそうにお話して下さいました。

踊りを習いはじめた頃は、夕方まで勤めにでて、夕飯の買い物をして帰宅し、夕飯の準備をしてから、踊りの稽古に通われていたそう。「忙しかったわ、あの時期」と振り返られます。夕飯の準備をして、ラップをかけて温めれば食べられるようにして出かけていっても、帰ってくるご飯は手つかずのまま。旦那さんは夕飯を食べずに寝ているということも続いたそうで、「その時期は犬猿の仲でした。なかなか家庭との両立は難しい。お稽古だけで、2時間もすれば帰ってくるのにな」と、笑いながら当時の苦労を振り返られます。たった2時間でも旦那さんにとっては夕食を共にできない寂しさがあったのかもしれない。「喧嘩しながらでも、踊りをやめようとは思わなかった。そのつど、うまいことぐり抜けてきました。機嫌とったり、だましたりしてね」と、明るく話す武子さんですが、こんなふうには

さん。そんな今の自分があるのは、これまで支えてきて下さった方々のおかげだとおっしゃいます。

現在では、数多くの教室を持ち、たくさんの生徒さんを指導されています。その中で、「よう教えて下さった」と喜んでもらうのが一番嬉しい瞬間だとおっしゃいます。

また、「生徒さんの中には、好き勝手踊れたらいいという方もいらっしやるんですが、踊りはひとりでするものでなく、誰かが見て下さるものだと指導しています。これ見よがしに踊るのは、好感度ゼロ。まじめに踊ってたら、見ている人も心打たれるものです」と、踊りという表現を敬う気持ちを大切に、指導にも取り組んでおられることがわかります。「踊りには、その人の気持ち、性格みたいなものが表れるんです」と、武子さん。

そんな武子さんが大切にされているのは、奇をてらった派手なものではなく、基礎をきっちりとした美しい踊り。「基礎がちゃんとしていたら、盆踊りでもきっちりきれいに見えます」と、華やかさだけではない、武子さんの筋の通った美しさに通じるものを感じました。最後に、武子さんが踊りを続けている動機をお聞きしました。

「人とつながることができると充実感がありますね。踊りをやってなかったらつながることともなかった人と出会えるのが楽しみ。踊りをとつたらなんの取り柄もないです。私」

恥ずかしがり屋の少女が大人になって出会った「踊り」は、彼女に表現の欲びを与えました。それは、自分自身と対峙する方法であるとともに、さまざまな人と彼女をつなぎ、「踊りをとつたらなんの取り柄もないです。私」と言わしめるまでに、彼女の中で大きな存在となっていました。そんなふうに見える「なにか」に出会える人生は素晴らしいと感じずにはいられません。(了)